津波について

玄海町では、日本海側で発生する地震に伴って、津波の来襲が想定されています。

津波発生前に行うこと

▶危険な場所の確認
▶避難場所の確認
▶避難経路の確認
▶防災訓練に参加　等

事前に確認

●情報の収集方法……P3, 4
●避難に備えて……P5, 6
●津波について……P21
●避難場所等一覧……P33, 34
●非常持ち出し品……裏表紙

津波警報・注意報が発表!!

地震に伴う強い揺れ又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた場合は、
気象庁の津波警報や町からの避難指示の発令を待たずに避難

津波発生後に行うこと
避難行動

避難時の注意点

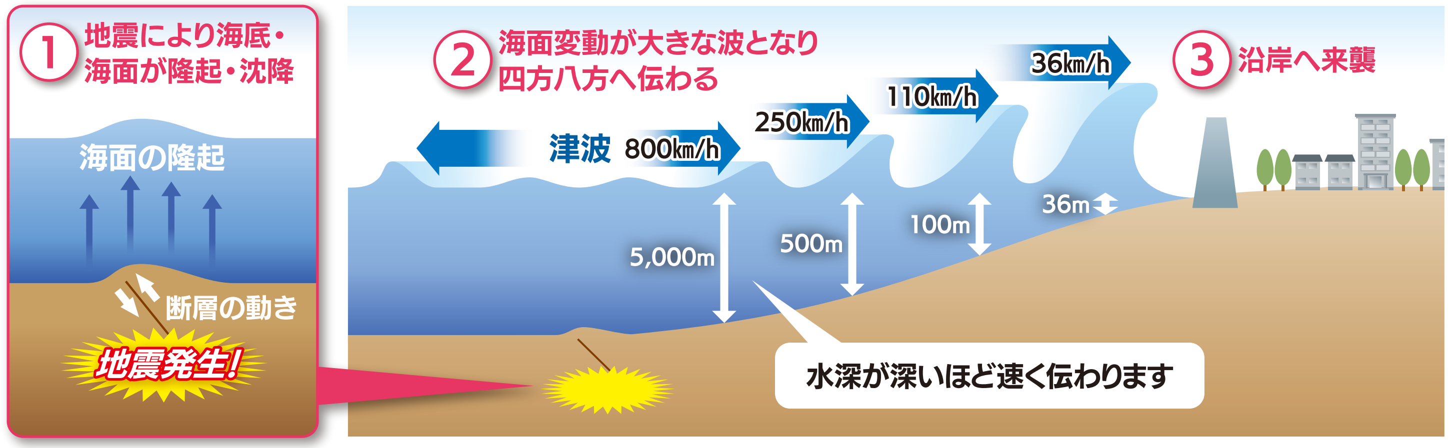
▶海から離れ、ただちに高い安全な場所へ
▶車は使わず、原則徒歩で避難
▶津波警報・注意報解除まで避難を続ける　等

いざ避難

●避難に備えて……P5, 6
●津波からの避難……P22
●避難場所等一覧……P33, 34

津波の発生と伝わり方

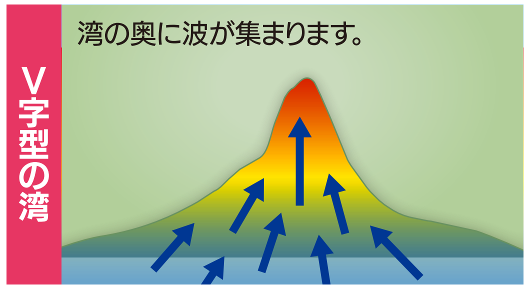
海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わる現象が津波です。また、繰り返し来襲するので、津波警報等が解除されるまで、避難を継続しましょう。



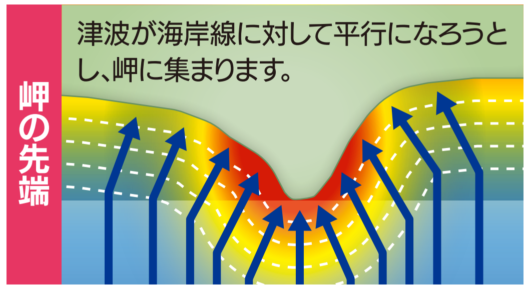
地形による津波の増幅

津波の高さは、海岸付近の地形によって大きく変化します。このため、所によっては予想される津波の高さより高い津波が来ることがあります。

V字型の湾



岬の先端



気象庁HPより

津波からの避難

津波に関する警報と注意報

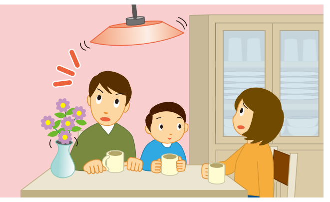
津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表（予想される津波の高さ区分）	巨大地震の場合の発表		
大津波警報（特別警報に位置付け）	10m超(10m<h※) 10m(5m<h≦10m) 5m(3m<h≦5m)	巨大	沿岸部や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m(1m<h≦3m)	高い		●標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(0.2m≦h≦1m)	(表記しない)	海岸堤防等が無い地域については、ただちに立退き避難をしてください。 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 ●養殖いかだが流出し、小型船舶が転覆します。

※h：予想される津波の最大波の高さ

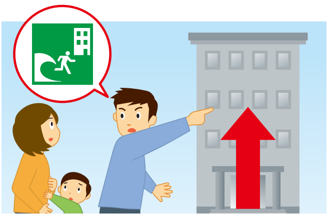
津波からの避難

津波発生時には、以下のことに気をつけて、落ち着いて行動しましょう。



小さな揺れでも油断禁物

たとえ小さな地震でも、津波が発生する危険性があります。



津波避難ビルへの避難

逃げ遅れたり、避難が困難な場合には、ハザードマップに掲載されている「津波避難ビル」に避難しましょう。

より高い場所へ避難する

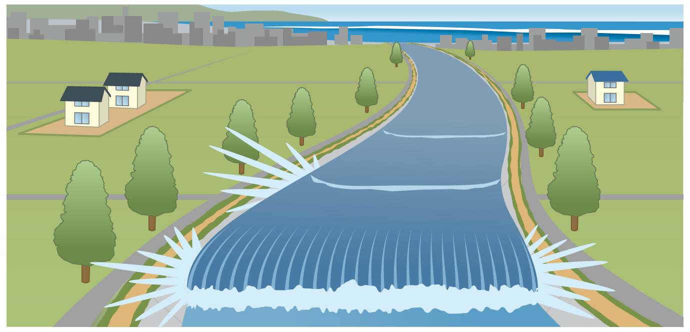
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

車での避難は控える

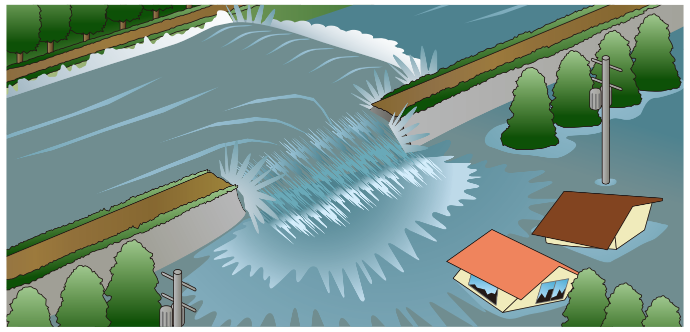
車は約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。

河川沿いの被害

津波は、河川を遡上し堤防を壊して住宅地が浸水する可能性があります。海沿いだけでなく、浸水が予想されている川沿いでも注意が必要です。



津波が河川を遡上し、越水する可能性があります。



地震により堤防が決壊する可能性があります。